

闇夜を照らす省エネ型ライト

現場ニーズに基づき開発

1年中を通して各地で繰り返される道路工事。当時道路舗装工事業者の現場作業を担当していた遠藤社長は常に不便を感じていた。道路工事は概ね深夜に行われ1日の作業時間は限られている。工事用コーンを設置して照明をつける。また工事終了後にはその撤収作業が発生する。限られた作業時間においてその準備と撤収にかかる時間は馬鹿にならず、何とか短縮できないか？また、発電機から発生する騒音はなんとかならないか？そんな現場担当時代に自分にとって必要かつ便利なものをこの世に無いならつくってしまえという感覚で開発し、起業したのが当社の始まりである。

当社が開発したホタルケーブルは、道路工事などで作業区域を区分けするために使う照明灯「工事用コーン」の消費電力を大幅に抑制するLED（発光ダイオード）付きケーブルである。従来の白熱灯に代わり、LEDで照明することで消費電力を最大100分の1に削減する。自動車バッテリーを電源に使えるため、発電機による排ガスや騒音を防止できる。当製品には5個のLED光源を備えたモジュールをあらかじめ組み込んだ。LEDは白熱灯に比べて消費電力が少ないことから、排ガスや騒音を生み出す自家発電装置ではなく、車用のバッテリーから電力を供給することができる。従来はケーブルを発電機につないで所定の位置



ホタルケーブル



ホタルケーブル使用例

に配置した後、枝分かれしたケーブルの先端にソケットと白熱灯を取り付け、さらにその上にコーンを乗せるという作業手順を踏む必要があった。ホタルケーブルは光源を取り付ける手間を省けるため、作業負担の軽減や作業員の安全確保につながることができる。ケーブルは従来と同じくドラムに巻き取ることが可能。発熱灯と同等の明るさを確保したため既存のコーンをそのまま活用できるのが特徴である。

いざ製品が完成するとそれはたちまち評判になった。持っていった現場では常に評価は高く、当初の目論見どおり、夜間の道路工事用などで需要があり、電力会社や建設会社、警備会社に採用が決っている。

持続性のある営業活動へ

ただし、社長一人の口コミ営業ではいい時は長続きせず、すぐに行き詰まってしまった。そんな折、ニューマーケット開拓支援事業の支援対象製品となりビジネスナビゲータと出会うことになる。当社は個人企業のような小さな会社であったため、目先の売上も必要であったし、将来的に大きな売上となる計画的な広報活動も必要である。ビジネスナビゲータは当社のネックである営業人員不足を補完するために、エンドユーザーに紹介すると同時に、主に販売代理店となるような企業を紹介し、点から面への販売活動となるような

企業概要

(有)エンドレス

東京都大田区田園調布本町 11-2 田園アツミマンション 1F

URL:<http://www15.ocn.ne.jp/~end-less/>

代表取締役 遠藤 司

資本金 300万円

業種 電気機械器具製造業・一般土木工事請負業

主要製品 環境対策型保安用品「ホタルケーブル」「北極星」

支援を行った。支援当初はほとんど無かった販売代理店の数は 30 社を超えるようになり、売上の向上に貢献している。また、中小企業の弱点のひとつであるブランド力の無さを補完するために、東京都建設局の「新技術情報データベース」への製品登録を提案し、登録されたことで、製品の信用力が増すと同時に多くの現場担当者の目に触れることとなった。

ビジネスナビゲータのハンズオン

売上が向上すると当然運転資金が必要となってくる。金融機関からの信用力の弱い当社に対して、中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画を説明し、ビジネスナビゲータが力になり、承認を得て資金調達が円滑にできるようになった。

ホタルケーブルの他に「北極星」というネーミングの自動車のヘッドライトに利用される HID ランプを使った作業灯も好評だ。夜間工事現場で一般的に作業用の光源として使用されているハロゲン灯に比較して使用灯数が 1/6 に減少できる優れたものである。この製品の普及に関して、ビジネスナビゲータは同じくニューマーケット開拓支援事業の支援対象製品である

(株)グローバルテック社のリチウムイオンバッテリー「GANGAN」と組み合わせることにより、「北極星」に携帯性をもたせ、使用領域を広げることに成功した。「ビジネスナビゲータは当社にとって経営のアドバイザーのようなものです。公的機関の方はお堅いイメー



作業灯「北極星」

ジがあるけど、ビジネスナビゲータの方は民間企業出身の方々なので、話しやすいし、ビジネス全般に渡りいろいろ教えてもらいました。」

ビジネスナビゲータのハンズオン支援の成果が出ていることが遠藤社長の声にも表れている。

ナビゲータの声

私の前職は交通安全用品…特に道路標識を諸官庁に紹介する仕事に携わっておりました。そのような縁で、(有)エンドレス社の製品を担当することになりましたが最初の製品は「ホタルケーブル」という工事現場用カラーコーンを内部から LED 光源で光らせようという、世間の常識からは容易には考えられない製品でしたので、最初は半信半疑で同社を訪問し製品説明を受けました。ところが、現物を見て驚きました。従来の 100V 電球では逆に「明るすぎて」折角のカラーコーンの形状が白色の団子状に見えるのに対し同社の LED 光源では光量が少ないため、カラーコーンの全景がはっきりと見えたのです。特徴のある製品は紹介する方にも力が入ります。

遠藤社長の商品開発、改良の探求心には頭が下がりますが、もう少し経営面にも気を使っただけであれば、今後もっと発展していけるとおもいます。

企業の声

弊社製品の当初の開発目的は工事現場に於けるコスト削減と発電機の騒音対策でした。光源に LED、HID ランプを使用することにより消費電力の大幅な削減はもとより、電源がバッテリーで可能となりました。そして、必然的に発電機が不要となり、騒音のみならず排気ガス対策もクリアできました。近年、地球温暖化が社会問題となり、行政機関及び一般企業までが CO₂ 削減が命題となっています。今後、弊社の得意分野である LED、HID ランプの特性を活かした製品開発を行い CO₂ 対策等少しでも社会貢献が出来る会社になる様努力をしていきます。